

**【松江市人口ビジョン】
2060年に約18万人を確保する**

出生数を高めるとともに...

□合計特殊出生率：2040年に2.22(全国平均+0.15)

社会増を実現することがポイント!

□社会増：2016~2060年(45年間)の社会増を平均270人/年

	実績		社人研推計		人口ビジョン	
	2001年	2014年	2040年	2060年	2040年	2060年
合計特殊出生率	1.46	1.60	1.46	1.46	2.22	2.22
出生数	2,058	1,836	1,092	765	1,971	1,906
死亡数	1,689	2,283	2,820	2,665	2,827	2,699
自然増減	369	447	1,728	1,900	856	793

「出生数約2,000人/年」を目指す

全国的な制度として「子育てや教育に要する費用負担の軽減など」の少子化対策の強化

市は「保健師によるきめ細かい相談や家庭訪問、子育て環境の充実など」の市民に寄り添った支援の強化

企業は「仕事と子育てを両立できる職場」づくり

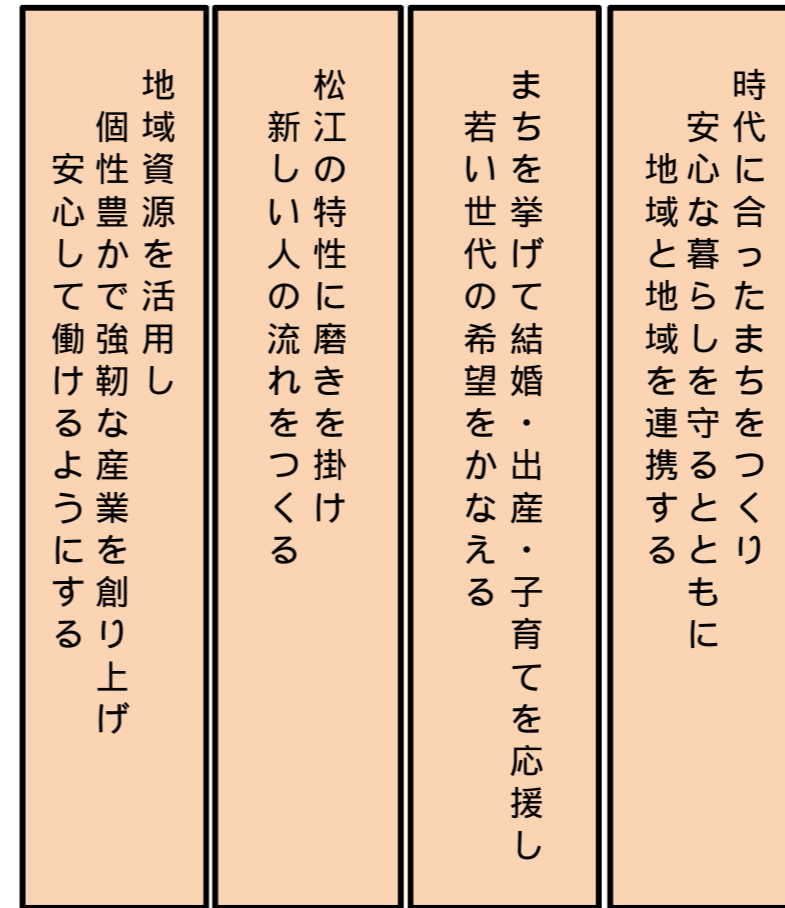
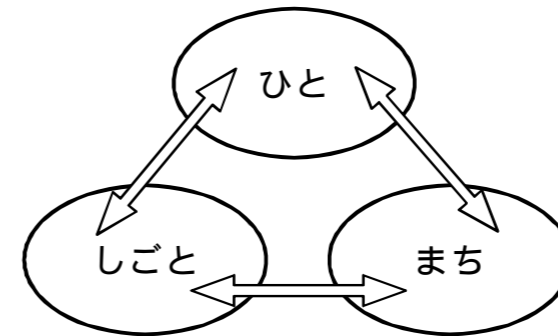
市民(地域)は「支え合いながら暮らすことのできる地域」づくり

持続可能な人口の年齢別構成に向け、「平均270人/年の社会増」を目指す

地域資源を活用して「もうかる産業」(しごと)をつくり、「雇用の場」を確保・拡大する
住みやすさに磨きを掛け、人や企業に選んでもらえる「まち」をつくる

人口減少の克服(総合戦略)は「長期に亘る」取り組みとなる

官民挙げた取り組み、とりわけ若い世代が主役となり取り組みを推進する
PDCAサイクルを確立し、総合戦略を不断に見直すことで、より効果的な施策を展開していく



中海・宍道湖・大山圏域との連携強化

若い世代が主役の取り組み

産学官金労言医福地など官民挙げた取り組み

「市民運動」として取り組んでいく

【基本目標毎の対策強化の視点】

- < 事例 >
 - 農林水産業の成長産業化
 - ・スマート農業、農水商工連携、6次産業化、地産外消の仕組みづくり
 - 産業の競争力強化
 - 産業人材の育成確保(RubyCityのグレードアップ、Uターン促進とマッチング強化)、ICTの利活用、自社製品の開発支援、企業間連携の促進
 - 地域資源に磨きを掛けた観光地づくりと広域観光の強化
 - ・国宝松江城など歴史文化や、宍道湖などの美しい自然に磨きを掛け、国内外に発信、広域的な観光周遊ルート形成や、インバウンドの強化
- < 事例 >
 - 松江版CCRC
 - ・住みやすさに加え、松江の特色である公民館での生涯学習や温泉の活用
 - 政府関係機関等の地方移転
 - ・政府関係機関(研究機関)、企業の本社機能、大学等の地方移転・地方拠点化と人材の還流
- < 事例 >
 - まち全体で若い世代をサポート
 - ・子育て世代包括支援センターの設置
 - や地域包括支援センターとの連携、地域で支える仕組みづくり
- < 事例 >
 - 拠点連携型のまちづくり
 - ・国宝松江城に相応しい町並み、拠点形成や地域公共交通網の整備など
 - 中海・宍道湖・大山圏域との連携強化、ポテンシャルの活用

人口ビジョンの達成

(2060年に約18万人を確保
出生数2,000人/年
社会増270人/年)